

# JaNet

July 2016 No. 78

季刊ジャネット

Ja-NetはJapanese Networkの略です。「にほんご」を通して編集室と読者の皆様を結ぶ情報誌にしたいと考えています。

Contents 目次

2016年7月25日発行

- View from the Other Side ..... 3  
ジリ・ヴァンソンさん(フランス)
- あちこち日本語ご紹介(国内編)..... 4  
愛知県 名古屋市
- あちこち日本語ご紹介(海外編)..... 5  
南アフリカ共和国 ダーバン
- 教材紹介 ..... 6  
『日本語教師のための入門言語学 一演習と解説一』  
『日本語教育のスタートライン』  
本気で日本語教師を目指す人のための入門書』  
『人を動かす! 実戦ビジネス日本語会話 中級1』
- なんでも情報BOX..... 8

スリーエーネットワーク

巻頭  
寄稿

## ユーモアと日本語教育

—「面白い授業」を再考する—



東京外国語大学  
教授

荒川洋平

外国語の学習者にどんな授業が好きかと聞いたら、十中八九返ってくる答は「面白い授業」でしょう。授業をする側の教員であっても、いざ自分が外国語の学習者になれば、面白く学べる授業の方がいいと思わずにはいけません。

面白い授業とは何か、教育学では定義していません。考え方はさまざまですが、本稿では面白さを直接に解釈し、「教室に笑い声があふれる、活気ある授業」と定義して、以下の4点から考えてみます。

### (その1) 面白い授業とは、不真面目でふざけた授業ではない

外国語の授業とは、単なる知識の伝達ではありません。学習者と教員、あるいは学習者どうしの口頭コミュニケーションや、それによる異文化・自文化への気づき、さらには他者や自分を敬する気持ちの涵養などを含む、活気のある営みです。知識を持つ年長の教え手が、その学識を水が高きから低きへ流れるように知識のない年少者、つまり学習者に伝えることが授業である、という考えは過去のものです。

知識の伝達だけを行なう授業は、実は教

員にとっては楽な方法です。教科書や参考書に書いてあることを読み上げるか黒板にまとめ上げるかして、学習者がそれをノートに写し取れば成り立ちます。そういう教室では学習者にはアウトプット、つまり自ら目標言語を口にする機会などは与えられないので、授業光景はときに厳粛に映ります。

こういう教え方を信奉する教員にとっては、学習者が絶えず声を出し、教室が笑い声やざわめきで包まれる教室の情景は、不真面目の極みに映ることでしょう。けれども現代の学習者は、謹厳らしさだけがとりえのつまらない教員にはノーを突きつけ、より楽しく、主体的に学べる授業を求めます。それでは面白い授業とは、教員が物分りの良いニコニコ顔をして学習者がしゃべりたいままに放置しておけばそれで成り立つのでしょうか。そうではありません。予習もせず適当に面白そうなることを口にするだけの教員に対して、学習者は厳粛なだけの教員に対する以上のノーを突きつけるものです。

面白い授業とは学習者の理解とやる気の向上をめざして教員が考え抜き、ときに練習までして望む授業です。その苦心が学習者には見えないだけで、授業の面白さは考

案と準備と演出が、すべてなされているわけでは

このことは、落語を考えればわかります。噺を覚えていない落語家では、とうてい高座に上がることはできません。まず落語家が内容をきちんと覚えた上で、独特の語りや間、些細な動きを工夫するからこそ観客は引き込まれ、ときに大笑いします。外国語の授業も同じです。前提としての綿密な下調べと周到な準備—多くは教案の形をとります—があり、そこに加味された面白さによって、学習者は初めて楽しく学べるわけでは

### (その2) 学習者は面白い授業の方がより学べる

笑うことの効能・効果はすでに医学分野で数多く発表されています。うつ病や摂食障害など心の病のみならず、糖尿病やリウマチにまで症状改善の報告があります。

それでもなお、「学習者が笑える授業」に対して反論が聞こえてきそうです。一笑っている間、人は何か記憶したり理解できたりするのか? 学ぶこととは何かをわかって、覚えることではないのか?

これは一面的な見方です。笑うためには「笑うべき事柄」があります。つまり何がおかしいのかを知るためには、脳は知的な活動、つまり認知活動を行わなければならないのです。言い換えれば類推や常識など学習者の知性に働きかけてこそ、結果としての笑いは生まれるのです。

さらに笑っているとき、人は上機嫌で、心が開いています。逆の場合は、怒りや不快感、悲しみなどで心は閉じています。それでは、学習者がよりよく学ぶのは、心が開いているときと閉じているとき、どちらでしょう。答は、明らかですね。

南カリフォルニア大学のS・クラッシュンという言語学者はこの「心の開閉」を、「情意フィルターレベルの高低」ということばで表現しました。クラッシュンによると、人が何かの内容を理解しようとするプロセスにおいては、その内容が脳に入る前に、その個人の感情 (affection) というフィルターを通ります。風邪のウィルスを防ぐためにフィルターがついたマスクがありますが、あのマスクに相当するものが、この情意フィルターです。

このフィルターは不安や自信のあるなしなどに影響されますが、学習者が不安や心配に覆われている場合、これを「フィルターレベルが高い」と言います。心の抑圧や萎縮が、学びをブロックしているわけです。

一方、笑いによるストレス軽減が、情意フィルターレベルを低めるのに役立つことは、明らかです。また仮に教えることが学ぶことでもあるのなら、楽しい笑いをもたらすことは、よりよく教えることにも通じるのではないのでしょうか。

### (その3) 面白い授業はトレーニング次第で必ず作り出せる

しかし、面白い授業の有用性がわかって、そこで立ち止まってしまう教え手は少なくありません。わたしは豪州で日本語教師の研修に携わったことがあります。そこでも自分はそんなに面白い人間じゃない、人を笑わせるのも上手じゃない、という声を何度も聞きました。けれども、面白い授業を作るというのは、別にコメディアンになることではありません。一人でこなすトレーニング次第で、面白い授業は作り出すことができます。

かといって、何か面白い冗談を仕込んで

すぐに次の授業に臨むのは、ちょっと時期尚早です。今までの自分の授業が真面目一辺倒だった場合、明日いつものクラスに赴いても、学習者の側楽しんで授業を受けるという心の準備はありません。そんなときにぼそっと準備済みの冗談を放つのは、法事の真っ最中にアロハシャツで登場するようなものです。傍で見ていけばおかしい光景ですが、学習者は笑っているものか戸惑うだけで、成功する授業にはならないでしょう。

最初にやるべきことは、教え手の側が、思い切り機嫌よく授業に臨むことです。授業の雰囲気を決めるのは、何とんでもなく教え手ですから、何だかわからないけどこの先生は楽しそうだ、と学習者の気持ちをほぐすことで、笑いのレディネス(準備)がまず教室に醸成されます。これを数回続けるだけで、冗談の仕込みなどなくても、授業は驚くほど変わってくるものです。

次が最難関の技法、つまり笑わせることですが、気をつけることがあります。人は誰かあるいは何かに対して笑うものですが、よほどの信頼関係がない限り、誰か特定の学習者を「笑いもの」にすることは避けなければなりません。特定の立場や文化の人を貶めても、教室は何ら楽しくなりません。となると、笑うべきは何かの事柄か、あるいは教師自身になります。確かに自分を笑うというのは、なかなか難しいものです。教え手である以上、高い立場でいたい、学習者に笑われるなんてとんでもない、そう思うかもしれません。

これは誤解です。楽しい授業というのは、自分が学習者に笑われる授業ではなく、自分が学習者を笑わせる授業なのです。教え手が自分の失敗を明るく笑い飛ばすとき、学習者が感じるのは、つまらない失敗をした教師に対する軽侮や嘲りではありません。そこに生まれるのはむしろ、自分だって日本語の学習中に失敗してもいいんだ、という安心感や、教え手の心の広さに対する安堵感です。これらが学習者の情意フィルターを低くするのは明らかです。

### (その4) ケーススタディ～結論

自分の失敗開示なしでも、もちろん面白い授業はできます。

10年以上前、ある初級のクラスで、学習者が2人だけのことがありました。口頭練

習が多い初級では、クラスの人数が少なすぎると、ちょっと煮詰まってしまう。そんなある日、可能形のドリルをした際、ラオスの学生が親友と待ち合わせたときに行き違いになって会えなかったことを話しました。チェコの学生がそれを受けて、ちょっとふざけてその親友は自分と会っていた、と冗談を言いました。わたしはそれを利用してもらい、この「ラオス人の親友」を毎回授業に登場させ、彼女を使ったエピソードを2人に説明させました。その「親友」にはだんだんとキャラクターの肉づけがなされていき、しまいには「親友」なしではクラスが進まないほどになりました。まるで学習者が増えたかのようで、チェコのDさんは帰国後のメールで、今でも教室には3人いたように思うし、本当に楽しかった、と述懐してくれました。

これは学習者が少なすぎる、という教室の不満を逆手に取った例です。設備がない、学習者のレベルが違うなど、授業の運営で困ったことがあったら、それは工夫次第で笑いのツボになりうるのです。

日本語教育は多くの場合、多国籍でグローバルな取り組みですから、そこで得られた授業評価は、国際的に通じるものです。今すぐには面白い授業は作れないかもしれませんが、それを目標にした試みそのものが、国際的に通じるPD (Professional Development= 専門能力の開発) であることは間違いありません。

#### 荒川洋平 あらかわ ようへい

東京外国語大学教授(国際日本学研究院)。専門は応用認知言語学、国際言語管理。現在、NHK国際放送の日本語番組「Japan-easy」の言語監修および読売新聞英字紙ジャパンニュースにて日本語学習コラム「Sound Smart in Japanese」を連載中。『もしも…あなたが外国人に「日本語を教える」としたら』(スリーイーネットワーク、正・続)『日本語という外国語』(講談社)はじめ、著書多数。現在、9月発行の『日本語教育のスタートライン 本気で日本語教師を目指す人のための入門書』を執筆中。



このコラムでは、学習者の視点での話題をお届けします

## はじめまして、二代目マイク・ミラーです。

『みんなの日本語 初級 第2版 会話 DVD』でマイク・ミラーを演じた俳優のジリ・ヴァンソンさんに聞きました。

### —マイク・ミラー役が決まったときの感想を教えてください。撮影はいかがでしたか。

フランスの大学で自分が勉強していた教科書の主人公を、まさか日本に来て、役者になって演じる日がくるとは夢にも思いませんでした。僕自身、ミラーさんを通して、日本語を覚えたので、これから日本語を勉強する人たちの参考にしてもらえるように、下手なミラーさんはできないと責任の重大さを感じましたし、同時に光栄にも思いました。

撮影はすごく楽しかったです。大変だったことは、僕は早口なので、いつも自分が話すスピードの1/3の速さで話さなければならなかったこと。もう一つは正確なイントネーションで話さなければならなかったことです。来日して16年になり、今では生活の中でコミュニケーションに困ることもありません。誰からも日本語を注意されない生活に慣れてしまっていたので、現場でセリフのイントネーションを何回も直されたのは、ちょっとショックでした。日本語がある程度できるようになると、そこで満足しちゃうことがあるので、改めて自分の癖を知ることができたのは良かったです。

### —大学で日本語を学ばれたそうですが、日本や日本語に興味を持ったきっかけは何だったんですか。

僕はフランス出身なのですが、70年代から80年代前半のフランスの子ども番組はほとんど日本のアニメでした。「アルプスの少女ハイジ」「フランダースの犬」に「キャンディ・キャンディ」とか。でも、舞台もヨーロッパだし、日本のアニメだと知らずに見てたんです。それが「めぞん一刻」を見たときに、「あれ？ここどこだろう」って思ったんです。家の造りが違ったり、お墓参りのシーンで、桜の花びらが舞っていたりして、ちょっとエキゾチックに感じて、初めて日本を意識しました。

高校の頃には日本映画や日本文学にも興



### ジリ・ヴァンソン

フランス・ヌヴィック出身。俳優・マルチタレント。中学から劇団に参加し芝居を始める。ボルドー第3大学日本語学科卒。2005年日本語能力試験1級合格。TVドラマ「のだめカンタービレ in ヨーロッパ」、映画「のだめカンタービレ最終楽章前編」「宇宙兄弟」、NHK教育テレビ「テレビでフランス語」など、様々なメディアで活躍している。

味を持ち始めました。そこで、通信教育で日本語の勉強を始めました。日本の字幕付きアニメを見て、その中でよく出てくる言葉をメモして、どういった状況でこの言葉が使われるかといったことを覚えたりもしました。フランス語は男性も女性も同じ話し方をしますが、アニメでは「きれいだぜ」「きれいだわ」といった言葉が出てきて、知らずに使っていましたね。その後、大学で本格的に勉強を始めました。

### —大学の授業はどうでしたか。

特にお世話になった出原節子先生には今でも感謝しています。先生は数年フランスに住んでいらっしゃいましたが、フランス語を全くお話しになりませんでした。授業は日本語のみで、語学の先生なんだから、少しくらいフランス語を勉強したらいいのにと感じたほどです。でも、先生が帰国される際、パーティで流ちょうなフランス語で挨拶をされ

て、びっくりしました。私たちのために隠し通されたのだと知りました。

言葉というのは文化や習慣、感覚でできていると思います。出原先生は、その感覚を教えてくださいました。私の同級生が何人も日本で働いているのは、出原先生の魔法だと思います。

### —日本にいらしたのは、ホームステイがきっかけだったそうですね。

99年の夏に来日して、1週間ずつ4つの家庭にお世話になりました。日本の大家族は畳に座って、皆でわいわい食事をして、毎日がパーティのように感じました。日本人はすごくまじめで堅い人たちというイメージがあるけど、家の中ではラテンな感じで温かかったです。イタリアのマンマみたいな。日本の家族っていいなあと思いました。今もご縁がつながっています。

その後、獨協大学に短期留学しました。結局、そのまま日本に留まることにし、エキストラをしたり、芸能の仕事を始めました。大学に在籍していたので、試験を受けに時々フランスに戻りながら、日本語の勉強を続け、首席で大学を卒業しました。

### —現在、様々なメディアで活躍されていますが、俳優のお仕事はいかがですか。

僕はものすごくシャイで、人前に出るのが苦手でした。それを直したくて演劇を始めたんですが、だんだん楽しくなって。留学中にエキストラをしていたときに、たまたまセリフのある役をもらったんです。それをきっかけに俳優の仕事を始めました。僕は自分で言葉オタクだと思うくらい、言葉が好きです。ある話題に対して、自分が持つボキャブラリーを最大限に使って、どう表現すればよいか、相手に届く言葉を考えます。自分の思うことを正確に表現できる言い回しで伝えたいと思うんです。どこで間をとるか、どういう順番で話すかといった演出も大切だと思っています。



日本語ご紹介

国内編

愛知県 名古屋市



## 第二世代への希望—名古屋YWCAの外国人日本語支援事業

公益財団法人名古屋 YWCA

業務執行理事 磯村美保子

### 1. 名古屋 YWCA の日本語教育事業

愛知は産業県として外国人労働者が、東京に次いで多い地域です。県人口の2.69%、約20万人の外国人は生活者として地域に定着しつつあります。その中で、名古屋YWCAの活動拠点である名古屋には、中国・フィリピンなどの出身者が多く住んでいます。日本で「働く」だけでなく「国際結婚」し、永住する外国人もいます。最近では、フィリピンの「日本国籍の日本語支援が必要な子どもたち」が増加しています。日本と歴史的な繋がり、薄いネパールやパキスタンなどからの移住者増加も最近の特徴といえます。

名古屋YWCAは1933年設立の公益財団法人です。日本語教育の専門機関として日本語教師養成や日本語学校と同時に、外国人子ども日本語教室「ガリ勉クラブ」、外国人子育てサポート教室「バンビーナ」(託児付教室)などの外国人家族の支援にも取り組んでいます。総合的な事業展開とボランティアの日本語・年少者支援に関する高い専門性が特徴です。「ガリ勉クラブ」や「バンビーナ」の活動は、外国人家族に日本語を通じて日本社会を深く理解してもらい、家族の言葉と文化を大切に多文化共生

活動です。

### 2. 外国人子ども日本語教室「ガリ勉クラブ」—「ガリ勉みらいプロジェクト」

現在、愛知県には6,000人を超える日本語支援を必要とする子どもがいます。私たちは、そのほんの1%の子どもたちの支援を行っているにすぎませんが、高校進学などの子どもの課題を見つめながら、事業を拡大してきました。5年間で25カ国150名の子どもたちが、50名のボランティアから日本語の会話、漢字、教科教育で必要となる日本語などを学びました。小学校高学年から高校進学を目指す子どもたち対象の6種の教室を開催していますが、最近では、学齢超過生や不就学の子ども対象の高校準備部の活動も始めました。その他に年少者サポーター研修、地域調査、進学・就労支援など外国人の子どもたちの課題に総合的に取り組む「ガリ勉みらいプロジェクト」も進めています。2015年には年少者支援の地域実態調査を行い『外国につながる子どものサポートブック—学齢超過生・過年度生・不就学生の教育支援を考える—』を発行しました。

### 3. 外国人子育てサポート教室「バンビーナ」—女性仲介者の役割

2013年度より活動を開始した「バンビーナ」は、外国人家族と地域社会を繋げる支

援事業です。

外国人女性は「外国人」として一括りにされるにはあまりにも置かれた状況が複雑です。労働者であったり、母や妻であったり、時には従属的な人間関係の中に置かれることもあります。「バンビーナ」では、ジェンダーの視点を取り入れ、社会参加の少ない女性たちへの働きかけを行っています。とくに読み書き能力の有無は、公的サービスへのアクセスを可能にし、市民化の鍵となると考えます。YWCAが女性中心のメンバーで活動していることが強みとなる場でもあり、文字を含めた日本語学習、子育て、就労支援、母語保持研修などの市民教育を行っています。まだまだ未熟な活動ですが、将来、「バンビーナ」第二世代が、体験を共有できる同性の女性仲介者(femmes relais)として外国人女性を支える存在となることを目標としています。

### 4. 社会課題を解決する活動へ

「移民は公的な領域では完全に平等に処遇され、私的な領域ではその行動の多様性が保障されるべきである」(ジョン・レックス)、この理想を実現するのは市民としてエンパワーされた子どもたちです。「ガリ勉クラブ」や「バンビーナ」の子どもたち、つまりホスト社会で成長する第二世代こそが、「異議申し立て」を行い、持続可能な社会の実現をもたらすのではないかと考えます。

持続可能な社会とは、戦争のない、女性や子ども、高齢者、障がい者、外国人の権利が守られる社会です。名古屋YWCAでは長年、国際理解や多文化共生を進めるための社会教育事業を行ってきました。「ガリ勉クラブ」や「バンビーナ」の社会活動を通じて、名古屋YWCAの活動資源が生かされていると感じています。



「バンビーナ」では料理や習字といった文化教室も。日本語教室の後には親子一緒に手遊びや折り紙を学びます

参考文献:宮島喬『ヨーロッパ市民の誕生-開かれたシティズンシップへ』岩波新書



日本語ご紹介

海外編

南アフリカ共和国 ダーバン



## 南アフリカで日本語を学ぶエンジニアたち

Kotobuki Trading Language Services

代表 吉村峰子

南アフリカ共和国(以下、南ア)第二の都市ダーバンは人口約 350 万人、南アの東海岸にあります。ここは製造業が盛んな土地柄で、現在、弊社は私を含めた三名の日本人講師を現地の日系企業等に派遣し、日本語及び日本文化の研修を行っています。今回はある大手日系自動車製造会社の南ア人エンジニアたちに行っている日本語研修をご紹介します。

私たちの生徒であるエンジニアたちは、企業内派遣で南アから日本へ、様々なプロジェクトのメンバーとして、おおよそ 2 年、長い人ですと 4 年間派遣されます。この自動車製造会社は、全世界に工場を持ち、過去何回も世界最高の売り上げを記録しているグローバル企業です。そんな実績を持つ会社ですが、真の意味でのグローバル化とは、車両が、現地で調達する部品で、現地で組み立てられ、現地で品質管理ができる、といったフルローカル生産を目指さなければいけません。そこで、別名“研修会社”という異名を持つほど、社員の研修に熱心なこの会社は、世界 28 国から若手の有望エンジニアたちを集めて、日本で研修を行っています。そして、エンジニアたちの母語すべてに対応した研修を行うのはもちろん不可能なため、日本での研修は日本語で行う、という方針が確立しているのです。

実際に会議に参加したり、レポートを書いたり、という語学レベルは、日本語能力試験の N2 くらいは欲しいところです。が、そこまで全世界に向けてハードルを高くするのはかなり難しいこともあり、N4 レベルの語学能力の習得が求められています。

私たちの南ア人生徒は、以下の目標を日本語能力ゼロから 550 時間で達成します。

① 日常会話がある程度理解できて、会話の中で自分の知らない語彙を認識し、それは何であるかを聞くことができる。

② 文化的にも一人で日本の生活が営めるだけの日本社会への理解を持つ。

③ ひらがな・カタカナはすべて、漢字は N4 のテストに合格するための必修項目として 300 ~ 400 字程度読むことができる。

言語を学ぼうと思ったとき、それを学ぶ場所がどこであるか、ということはその学習方法にも大きな影響を与えます。

南アで学ぶ生徒たちは、教室の外の生活の中で日本語に触れられる環境がほとんどありません。教室を日本の物やポスターで飾ったり、日本的なイベントを催したり、ということももちろん大切ですが、それ以上に大切なのは彼らの学ぶ“内容そのもの”がきちんと彼らの現実や日本の生活を反映しているか、ということだと私は考えています。

私たちは、米国のカラン博士が開発された Counselling Learning を元とした吉村カウンセリング式語学学習法で授業を進めています。

これは、学習者が学びたい内容を主体的に考え、教材を作る過程から参加する手法です。学習者は、必要とする文法や単語を使った独自の会話文を、教師の助けを借りながら、自身の声で録音し、それを書き起こしながら学んでいきます。

さらに彼らがエンジニアとして日本の職場で期待される状況なども、積極的に“教材”として取り入れ、実際の環境に限りなく近づけることが大切です。また、生徒の持つ文化的背景を日本文化や言語とどう折り合いをつけるか、ということも重要な課題です。

具体的な例をご紹介します。先日、新しく始まったコースでこんなやり取りがありました。この日は、コースを始めて 500 時間ほど勉強している生徒たちが、この新しい



日本へ派遣されるまでに、1日4時間、7カ月の日本語研修を受ける

コースのファシリテーションを任されていました。会話は、通りすがりの人に道順を聞く、という設定でした。

「すみません、ちょっといいですか。」「はい、何ですか。」

ここで、新しく勉強を開始したコサ族出身の女性から「待って!」の声が上がりました。彼女は、困っている人を見かけた際、その人が助けを求めている状況において、彼女の部族の習慣として「何ですか。」と答えるのは無礼だし、自分の返事に「はい、何をお手伝いしましょうか。」のニュアンスがなければ嫌だ、と言うのです。このやり取りを聞いていた私は、彼らに一つヒントを出しました。日本語にはそのニュアンスを示す一言がある、というアドバイスでした。あれやこれや、みんなで過去の会話をひっくり返したりしているうちに、一人が「ああ! わかった、『どうぞ』ですね!」と叫んだのです。

「すみません、ちょっといいですか。」「はい、どうぞ。」

この二つの返事の違いが、いきいきと話し手のニュアンスまで伝えていきます。カウンセリング教授法の醍醐味です。こうやってたどり着く言葉の力というのは、生徒たちに多くの影響を与えます。

日本から遠く離れていても、日本の文化、心を伝える日本語の研修にこれからも精進していきたくと思っています。

## 日本語教師のための入門言語学 —演習と解説—

原沢伊都夫 著

A5判 256頁 別冊48頁(予定) 1,800円+税 10月発行予定

### 17年間の教師養成講座での経験によって生まれた入門書

静岡大学 教授 原沢伊都夫

民間の日本語教師養成講座で「言語学」を教えるようになって17年が経ちました。当初はソシュールの理論を説明しても受講生のかたが理解してくれているか確信がもてませんでした。それよりも、難しくてよくわからないという苦情が多く、どのようにしたら言語学の理論をわかりやすく教えることができるか、苦悶する日々が続きました。大学の講義とは異なり、民間の養成講座には様々な社会人が参加しています。10代から70代までの学歴も職歴も動機も経験も異なる人々に、興味をもって言語学を学んでもらうのは並大抵のことではありません。

#### 受講生の声から出来たテキスト

思考錯誤を重ねながら、教科書だけを頼りに教えていたやり方から、自分なりのシラバスを作成し、受講生のかたの反応を見ながら、シラバスに修正を加えていきました。講座が終わるたびに詳細なアンケートをとり、改善点を見つけ、それをシラバスに反映させるということを繰り返しました。言語学の理論を身近な日本語の例で説明し、日常生活との接点を感じられるように心がけました。いつしかシラバスはテキストに変わり、そのテキストを使って授業を行い、講座の終了後に今度はそのテキストを修正するという作業が続きました。

修正点があまらなくなってきた頃でしょうか。内容は難しいがわかりやすいという声を受講生のかたから、ちらほら聞こえるようになってきました。現役の大学生の受講生からは、大学の授業でわからなかった言語学がやっと理解できたという声もいただきました。

言語学は面白いのもっと勉強したいという感想もありました。17年間の格闘の末、なんとか言語学の面白さを皆さんに伝えることができるようになったのではないかと、現在では少し自信をもって言えるようになりました。

ご存知のように、言語学は日本語教師にとって身につけなければならない重要な知識のひとつです。それは、単に言語理論の勉強だけにとどまらず、日本語を世界の中の一言語として見つめる目を養うことになります。世界中から集まる外国人に日本語を教える日本語教師は、日本語を特別な言語として教えるのではなく、世界の言語に共通する“ものさし”で説明することが求められます。言語学はそのような現場で大いに力を発揮するのです。

#### 本書の構成と特徴

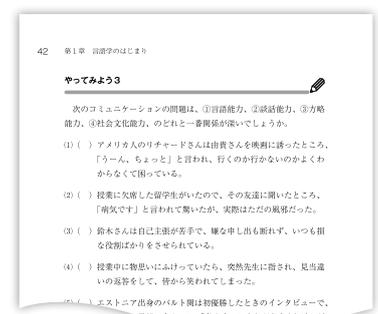
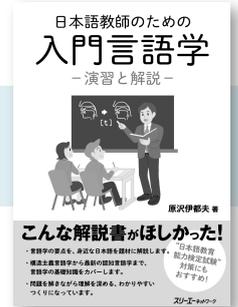
言語学の入門テキストということで、当然ながら言語学の基礎的な項目をカバーしています。第1章から第7章まで「言語学のはじまり」「音声学」「音韻論」「形態論」「統語論」「意味論(語用論)」「認知言語学」と続き、ソシュール以降の構造主義言語学から生成文法を経て、認知言語学に至る言語理論の変遷を追いかけています。

各章の冒頭にはその章のキーワードとともに簡単な内容紹介があり、これから学ぶ内容をあらかじめ知ることができます。各章では項目ごとに「やってみよう」という設問があり、理論の理解度を確認していきます。章の終わりにある「まとめ」によって学んだ内容を再確認し、最後の「総合問題」で応用の知識を養います。この「総合問題」は日本語教

育能力検定試験を意識しており、この章で学んだ知識だけでなく、関連する新しい知識にも挑戦する形式になっています。また、各章の内容を補足する「コラム」と読者の興味をそそる「雑学のうんちく話」が挿入され、読者を飽きさせません。問題を解きながら理解を深める、わかりやすいつくりになっています。

本書のもう一つの特徴として、別冊の「解答と解説」が充実していることが挙げられるでしょう。通常の入門テキストにありがちな「解答」のみ、または「解答と少しの解説」ではなく、なぜそのような解答に至ったのかの詳細な説明とともに、他の選択肢の解説も入れています。「解答と解説」を読むことで、内容の理解度を確認しながら、納得して勉強を進めることができるように工夫しています。

本書は民間の日本語教師養成講座だけでなく、大学の日本語教師養成講座での活用も想定しています。もちろん個人で勉強するかたも「解答と解説」があれば、先生がいなくても学習を進めることができるでしょう。言語学の第一歩として、多くの方が本書を利用してくださることを筆者として心より願っています。



# 日本語教育のスタートライン 本気で日本語教師を目指す人のための入門書

荒川洋平 著

A5判 632頁(予定) 2,500円+税 9月発行予定



## 検定対策を始める前に！ 本当にわかりやすい入門書

東京外国語大学 教授 荒川洋平

この本は、地域のボランティアで教えていらっしゃる方や、プロであってもまだ知識が十分でない方のための、わかりやすく読み通せる参考書です。本書が目標とすることは、外国語としての日本語の授業がもっと上手になりたい方のために、理論や知識の面から手助けをすることです。

日本語学や日本語教育に関する入門的な書籍は、たくさん出ています。その多くは、内容や切り口がよく考えられた良書です。けれど上に述べた「本当の初心者」の方には、それらの良書でもまだ難しすぎる、というのがわたしの実感です。わたし自身は物わかりが悪い方なので、わかりやすい例えやこと

ばで語ることの必要性は日ごろから感じています。そこで、それらの本を読むことを目標として見すえ、まずはこれを読んで日本語教育の専門的な枠組みを知ってもらおう、というのが本書を執筆した動機です。

その枠組みとして、本書は「日本語教育能力検定試験」、いわゆる“検定”のシラバスを用いました。ただし、これ一冊で検定の勉強は大丈夫、というわけではありません。本書は建築物でいえば、あくまで土台作りを担うものです。本書の各節には「次はこれを」という、その次に読むべき本を、簡単な書評と共に紹介してあるので、役立てていただければと思います。

週に一回、近所の外国人に教える場合で

も、専門知識がいくらかでもあればもっと楽しくわかりやすい教え方が探れますし、問題意識にも敏感になれます。本書で得た知見を単なる合格暗記メモに終わらせず、よりよい授業のために、ぜひ利用してください。

もちろん、読む楽しさにもこだわりました。以下の文言をちょっと面白いな、と思ったらぜひ手にとってみてください。

[キーワード] 野間真奈美の目に魔物ね／取立て女子／カレー&牛丼セットとバイリンガリズム／こぐまのやさしい母音講座／楽しく豆食う森山清一／連体詞は覇気のない梁山泊／屋ドラにみる百科事典的な意味観／クラッシュの仮説における負の三兄弟 etc...

どうぞ、お楽しみに！

## 『人を動かす！ 実戦ビジネス日本語会話 中級 1』

(一財)国際教育振興会日米会話学院日本語研修所 著

B5判 112頁(予定) CD付 2,400円+税 11月発行予定

Now  
Printing

## 役割ごとに会話練習ができる音声、教師用参考書をウェブで公開予定

(一財)国際教育振興会日米会話学院日本語研修所 講師 瀬川由美

本書は、『人を動かす！ 実戦ビジネス日本語会話(上級)』の中級編です。日本語でビジネスがしたいという中級の学習者を対象にした実践的な会話習得のためのテキストです。全9課から成り、各課は「本文会話」「表現」「談話練習1」「談話練習2」で構成されています。

「本文会話」は、日本の銀行に勤めるタイ人・アナンのビジネス活動を中心に展開します。アナンが取引先を訪問したり、同僚とランチに行ったり、家族と休みの計画を立てたりする中で、学習者が敬語を使ったフォーマルな会話から、カジュアルな会話まで運用できるようになることを目指します。「表現」は「本文会話」に出てくる文法表現を短い会話形式で紹介しています。文法表現は、

JLPTのN3、N2相当のものを取り上げており、これらの表現が短い会話練習を通じて、自然に身につくようになっています。「談話練習1」「談話練習2」は、「本文会話」の中にある「訪問時のあいさつ」「店を評価する」「相手を説得する」といった場面でのやりとりを談話形式で口頭練習します。これら一連の練習を声に出して繰り返し行うことによって、語彙の強化を図るとともに、自分の場面で同様の会話がスムーズにできるようになります。

なお、学習の助けとして、すべての漢字にはふりがなが付いています。また、「本文会話」と「表現」、語彙リストには英訳が付いています。

### 【目次】

1. 新人を歓迎する ～飲み会で親交を深める～
2. 新人を指導する ～仕事の引き継ぎをする～
3. 取引先を訪問する ～訪問先であいさつをする～
4. 営業報告会に出る ～提案について説明する～
5. 職場の人とランチに行く  
～店について評価する～
6. 休みの計画を立てる  
～家族や友人(親しい人)と話す～
7. 人材紹介会社の人と会う約束をする  
～人材紹介会社の人と日時を調整する～
8. 人材紹介会社の人と面談をする  
～転職先について話す～
9. 面接を受ける ～転職先の面接を受ける～

\*『人を動かす！ 実戦ビジネス日本語会話 中級 2』は来夏発行予定です。



# なんでも情報 BOX

# Books ほん

すべて本体価格です

|                                    |                 |
|------------------------------------|-----------------|
| 新完全マスター単語 日本語能力試験 N3 重要単語 1800 語   | 8月発行予定 1,600 円  |
| 日本語教育のスタートライン 本気で日本語教師を目指す人のための入門書 | 9月発行予定 2,500 円  |
| 日本語教師のための入門言語学 一演習と解説一             | 10月発行予定 1,800 円 |
| 人を動かす! 実戦ビジネス日本語会話 中級 1            | 11月発行予定 2,400 円 |

# Seminars セミナー

## 日本語教材まつり 2016 in 大阪

### 「日本語能力試験 N3 をしっかり理解する、日本語能力試験 N3 とがっつき向き合う」

日時：9月3日(土) 10:00-16:30  
(受付開始 9:30)

会場：TKP 新大阪カンファレンスセンター  
ホール 6A (大阪市淀川区宮原 4-1-4 新大阪センタービル 6 階)

#### 第 1 部 日本語能力試験をしっかり理解する 研修会① N3 レベル合格のための学習者の語彙力 UP を目指す!

講師：石井怜子 (『新完全マスター単語 日本語能力試験 N3 重要 1800 語』著者)

#### 第 2 部 日本語能力試験 N3 とがっつき向き合う 研修会② 日本語能力試験 N3 対策の指導法を考える

講師：小山暁子 (フリーランス日本語教師)

#### 研修会③ N3 受験を勧める“先生”の視点と学習者の力

講師：西川寛之 (明海大学講師)

対象：日本語教育に興味のある方 (ボランティア、日本語教師、養成講座受講生など)  
定員：150 名 (先着順。定員になり次第締め切ります)

参加費：1,000 円 (税込)

問合せ / 申込み先：凡人社営業部 (担当：坂井)

TEL：03-3263-3959 FAX：03-6733-7887

E-mail：ksakai@bonjinsha.co.jp

イベント名、開催日時、お名前 (ふりがな)、電話番号またはメールアドレスをお知らせください。

主催：アルク、スリーエーネットワーク、凡人社  
\* 当日、各研修の題材書籍や日本語教材の展示・販売を予定しております。会場限定での割引引きあり!

\* 内容 / スケジュールは変更の場合もございます。

### 楽しく、わかりやすく、役に立つ初級の授業作り — 『イラスト満載! 日本語教師のための活動アイディアブック』を使って—

講師：小山悟 (九州大学 留学生センター准教授)

## 仙台

日時：10月22日(土) 14:00-16:30  
(受付開始 13:30)

会場：TKP 仙台カンファレンスセンター  
ホール 2A (仙台市青葉区花京院 1-2-3 ソララガーデンオフィス 2 階)

定員：60 名 (先着順。定員になり次第締め切ります)

共催：丸善仙台アエル店

## 横浜

日時：11月5日(土) 14:00-16:30  
(受付開始 13:30)

会場：TKP 横浜ビジネスセンター ホール 7A  
(横浜市神奈川区鶴屋町 3-30-8 SYビル 7 階)

定員：70 名 (先着順。定員になり次第、締め切ります)

## 2 会場共通

参加費：無料

問合せ / 申込み先：

スリーエーネットワーク講座係

102-0083 東京都千代田区麹町 3-4 トラスティ麹町ビル 2 階

TEL：03-5275-2722 FAX：03-5275-2729

E-mail：kouza@3anet.co.jp

お名前・ご所属・ご住所・電話番号を明記してください。電話での申込みはお受けできませんので、FAX、E-mail、はがきにてお申込みください。

主催：スリーエーネットワーク

# Information お知らせ

## 「みんなの日本語かるた」の句を大募集!!

Ja-Net は 2017 年 1 月に発行 20 周年を迎えます。これを記念し「みんなの日本語かるた」を制作することとなりました。そこで、『みんなの日本語』にちなんだ句を募集します。応募方法は同封のチラシ、またはウェブサイトをご覧ください。

募集内容：『みんなの日本語』にちなんだ、かるたの句、計 44 首 (「あ～ま行、ら行、や、ゆ、よ、わ」の各文字で始まるもの)

採用された作品をもとに「みんなの

日本語かるた」を制作します。また、無料のダウンロード教材として、ウェブサイトでご公開します。

賞品：採用された方には「みんなの日本語かるた」1 セットを贈呈

(お一人様 1 セットに限ります。複数句採用された場合は、当社グッズを別途贈呈)

締切：2016 年 8 月 31 日 (水) 当日消印有効

## 電子書籍『日英対訳 外国人をサポートするための生活マニュアル 第 3 版《デジタル版》』配信中

同名書籍の改訂版が電子書籍として登場。2012 年 7 月から完全施行された改定入管法を始め、2010 年秋以降の主な法制度の変更を反映させています。日本で暮らす外国籍住民が様々な場面で「制度」の壁にぶつかったとき、「どうすれば良いの?」への実践的な答えを提供し、「言語」の壁だけではなく、「制度」の壁を乗り越える手助けができる一冊です。

編著：特定非営利活動法人移住者と連帯する全国ネットワーク

希望小売価格：1,500 円 + 税

主な電子書店でお買い求めいただけます。

# Ja-Net No. 78 季刊ジャネット

スリーエーネットワークという社名は、アジア (Asia)、アフリカ (Africa)、ラテン・アメリカ (Latin America) の三つの地域をネットワークでつなぎ、相互理解と友好促進を図ろうという趣旨をシンボライズしています。

2016 年 7 月 25 日発行

● 発行人 藤崎政子

● 発行所 (株) スリーエーネットワーク

Ja-Net 編集室

〒102-0083 東京都千代田区麹町 3-4

トラスティ麹町ビル 2F

TEL: 03-5275-2722 FAX: 03-5275-2729

E-mail: sales@3anet.co.jp

http://www.3anet.co.jp/

● 印刷 日本印刷 (株)

© 2016 by 3A Corporation Printed in Japan

(禁無断転載)

● 『Ja-Net』をご希望の方はお名前・ご住所・ご所属を編集室までお知らせください。無料でお送りいたします。『Ja-Net』第 79 号は 2016 年 10 月 25 日発行です。